



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1017 2016年3月14日

ARIBの動き

電波環境協議会主催講演会「CISPR ストレーザ会議報告会」を開催

ARIB が事務局を務める 電波環境協議会 (略称:EMCC) 主催の標記講演会が、3月3日(木)に計 65 名の出席のもと主婦会館プラザエフで開催されました。

国際無線障害特別委員会(CISPR)会議は毎年開催されており、今年度はイタリアのストレーザにおいて昨年9月21日から10月1日までの11日間にわたり開催されています。我が国からは、電波利用環境委員会主査の多氣 昌生先生(首都大学東京大学院 教授)をはじめ、40名の方々が参加されました。



電波環境協議会主催講演会「CISPR ストレーザ会議報告会」の様子

電波環境協議会では、広報活動の一環として、会員各位に CISPR の現状と動向を把握していただくため例年 CISPR 報告会を開催しており、今年度は「ストレージ会議」に参加された 6 名の方々に、総会、各小委員会の審議概要について講演いただきました。はじめに、当協議会の上 芳夫会長(電気通信大学名誉教授)から開会挨拶のあと、続いて下記の報告が行われました。

本講演会は、CISPR 会議の審議状況の全容を広く把握・確認いただける唯一の機会として、今後も皆様のお役に立てるよう運営方法等改善を重ね継続実施してまいります。

1. CISPR ストレージ会議総会報告

多氣 昌生 先生 (情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会 主査
首都大学東京大学院 教授)

2. SC-A の審議概要 (無線妨害波測定および統計的手法について)

石上 忍 氏 (国立研究開発法人情報通信研究機構 電磁波計測研究所
電磁環境研究室 研究マネージャー)

3. SC-B の審議概要 (工業、科学及び医療用高周波装置ならびに架空送電線、高電圧機器及び電気鉄道からの妨害について)

吉岡 康哉 氏 (富士電機株式会社 技術開発本部 製品技術研究所 パワエレ技術研究
センター 共通技術開発部 主査)

4. SC-F の審議概要 (家庭用電気機器及び照明装置からの妨害とイミュニティ)

平伴 喜光 氏 (パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 ライティング
事業グループ 品質環境革新センター 参事)

5. SC-H の審議概要 (無線業務保護のための妨害波許容値)

松本 泰 氏 (国立研究開発法人情報通信研究機構 電磁波計測研究所
電磁環境研究室 室長)

6. SC-I の審議概要 (ITE、マルチメディア機器及び受信機の EMC 規格について)

堀 和行 氏 (ソニー(株) 品質/環境部門 プロダクトコンプライアンス部 規制調査課
EMC/RF プロダクトコンプライアンスマネージャー)

第 73 回品質評価法調査研究会を開催

3月3日(木)に第73回品質評価法調査研究会が開催されました。この中で、傘下の評価シーケンス作業班及び音声品質評価法作業班の活動報告と、モニタリング評価法作業班の閉会の報告がありました。また、平成28年3月末までの設置期間を延長せず、調査研究会は終了

とし、活動中の評価シーケンス作業班及び音声品質評価法作業班を円滑にスタジオ設備開発部会に移管する目処が見ついたことが、西田委員長から報告されました。

本調査研究会は、放送番組の制作、伝送及び受信に係わる画質及び音質等の品質評価法を調査研究することを目的として平成8年に設置されました。発足当時はデジタル放送の黎明期で、平面ディスプレイの普及、大型化に向かう時期でもあり、その評価法、測定方法、視聴環境など、様々な品質評価法の調査、確立が望まれた時期でした。

本調査研究会の活動の成果は、報告書、ARIB技術資料、テストチャート作成、国際標準化活動など多岐にわたり、放送技術の品質評価法の確立、発展に貢献してきました。具体的には、報告書では、「デジタル映像評価法」、「IP・モバイルサービスの主観品質評価法具体評価事例検討」、「デジタル放送のモニタリング・品質評価手法に関する調査研究」、「SAMVIQ法に関する実験」、「平面ディスプレイ画質調査実験」など、ARIB技術資料では、「放送チェーンにおける映像・音声信号の障害監視のためのメタデータ」、「制作・取材用リアルタイムIP映像伝送における品質確保のためのガイドライン」、テストチャートでは「ハイビジョン・システム評価用標準動画像」、「超高精細・広色域標準静止画像」、「超高精細・広色域標準動画像」です。標準画像は、映像情報メディア学会より頒布され、機器製造事業者、放送事業者、研究機関等で広く活用されています。国際標準化活動では、ITU-R 勧告、レポートなどにつながる寄書案の作成などに貢献してきました。

品質評価に関わる活動は、放送の品質を維持・向上させるために取り組むべき重要な活動の一つであり、映像あるいは音響のスタジオ規格と密接な関係にあります。また、ITU-R では、番組制作に関わる技術と品質評価の両方を担当しています。こうした趨勢の中、今後、品質評価に関わる活動を独立した調査研究会として継続するよりも、スタジオ設備開発部会と一体となって活動することによって、より大きな成果が期待されると判断し、現在活動中の評価シーケンス作業班及び音声品質評価法作業班をスタジオ設備開発部会に移管し、20年に及んだ品質評価法調査研究会としての活動は、ここで終了することにしました。

第 226 回業務委員会を開催

第 226 回業務委員会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日 時：平成 28 年 3 月 9 日（水） 午後 3 時 30 分から 4 時 45 分まで
- 2 場 所：当会第 2 会議室
- 3 議事概要：

- (1) 第 99 回規格会議の開催について
- (2) APT 無線グループ第 19 回会合 (AWG-19) の概要について
- (3) 第 5 世代移動通信システム (5G) に関する日欧シンポジウムの開催概要について
- (4) 「2020 年に向けた電波政策に関する意見」の提出について
- (5) 電波利用懇話会の活性化について
- (6) その他

今週の ARIB 内会合 (3 月 14 日～3 月 18 日)

- 3 月 15 日 (火) スタジオ設備開発部会 スタジオ音声作業班
3 月 17 日 (木) 高度無線通信研究委員会 BWA 部会(第 15 回)
3 月 17 日 (木) 電磁環境委員会 ビデオ作業班 第 17 回ビデオ WG
3 月 18 日 (金) スタジオ設備開発部会 スタジオ映像作業班

今週の国際会合 (3 月 14 日～3 月 18 日)

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

「観光・防災 Wi-Fi ステーション整備事業」及び 「公衆無線 LAN 環境整備支援事業」に係る提案の公募

【平成 28 年 3 月 4 日発表】

総務省では「観光・防災 Wi-Fi ステーション整備事業」及び「公衆無線 LAN 環境整備支援事業」に係る公募を、平成 28 年 3 月 4 日 (金) から同年 4 月 4 日 (月) (必着) まで行っています。
詳細については [【平成 28 年 3 月 4 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp